

まほろば 徳・得 講座 【アンケート】

大変、盛会となりました。皆様には、ご参加をいただき、本当にありがとうございました。



皆様から戴いたお声を、部分掲載させていただいております。

第（一）講 2024年(令和6年度)7月3日(水)13:30~15:00 於山田ホール

おうか

逢香先生「書道と妖怪に導かれて」—奈良教育大学での出逢い—



○3 回生

講座を開催して頂き、非常にありがたいなと感じました。私は書道への興味はなく妖怪にも興味はありませんでした。今回参加させて頂いたのは、高校教員から別職に移った経緯が気になり、参加しました。

書道の楽しさ、芸術的な美や空間への美を楽しそうに伝えて下さっており、妖怪を描いてみようとのワークショップから少し興味が湧いてきて、自分の心情を表してみようかなと思うきっかけとなりました。

○2 回生

妖怪の昔と今との違いや、今の前向きな姿を風刺しつつも見せる表現がすてきだなと思った。板書の書き方のアドバイスが講義で学んだものと新しいものがある面白く楽しく聞かせてもらえた。

またこうした様々な経験をなされた方の話をきいてみたいと思った。

○一般ゲスト(大学教員)

沢山の活動についてお伺いすることを通して、本当にエネルギーに新しいことへ切り拓くことに挑戦し続けていらっしゃるんだなと大きな刺激をいただきました。

でも一貫して心に向き合っていることが印象的でした。

たくさんの回転を通して、海の水を満たして岩礁の凹凸よりも水面のキラキラに目を向けていくというお話、色々な苦しさを抱えながらも、前向きに、たくましく歩みを進めている逢香さんの幹の部分を見つけた気持ちになりました。

素敵なお話を、本当にありがとうございました。

○一般ゲスト(大学職員)

活躍されている卒業生の方のお話を聞かせていただき、日々の業務に対するモチベーションが上がりました。たくさん作品も紹介いただき、どれも魅力的でした。

すばらしい講座を開いていただきありがとうございました。

○一般ゲスト(元大学教員)

建築に興味をもっていますから、書が三次元の工芸建築としてとらえることに感心しました。私も「書」を360°まわってよく見ます。支援学校の教員、毎日放送へ、その過程でいろいろな事を吸収したから現在があるのだと納得しました。

○一般ゲスト

学校の先生になるだけが教え育むではないと思っているので、大学を出た後もこのようにいろ

いろな活動を通して、書や文化や芸術の楽しさを伝えておられるのはすごいなあと思いました。

私は逢香さんの4,5つ上の先輩なのですが、メディアやSNSで妖怪を通して、どんどん奈良や文化や書を日本中の皆さん、いや、世界中の皆さんに伝えていっていただきたいです。

ピリッと、おもしろかったです(笑)

○一般ゲスト

書道の書体は読めないことも多いけど、読めないでもよいかどうか…或いは読めないとイラッとする人もいるから、というお話がすこしありましたが、私がたびたび感じてきたことです。

楽しいお話をありがとうございました。

○同窓会員

卒業してすぐに小学校へ、全教科(音楽も家庭科も)担当してきたあと中学校へ。理科以外に数学や技術も教えながら教育委員会へ。小学校に戻り定年退職。

16年間の授業でできなかつたくやしさに、私立で授業、とうとう、50年理科を好きと言わせたいという人生の上に、今がある。

満足していたけど…とにかく一本道だった私の人生。でも、逢香さんのような支援学校、テレビの美術スタッフ、さらにモノモンの活動、その他いろいろ広くの活動…すごいなあ。そんな人生歩んでみたかったなあと思いました。

今後の徳得講座、期待しています。ありがとうございました。

○同窓会員

多忙な日々をお過ごしの逢香さん、有意義なお話しありがとうございました。書道を通して、様々な場所でご活躍の様子、感心して聞かせていただきました。

妖怪を仲間にとり入れ、この世の中を楽しく過ごしていく方法は、生きるのに課題の多い、今の世に大切な視点だと思います。

まだまだ若い逢香さんの今後の益々の活躍をお祈りしています。どんな活動を展開されていくか、興味があります。頑張ってください。

本日は本当にありがとうございました。